

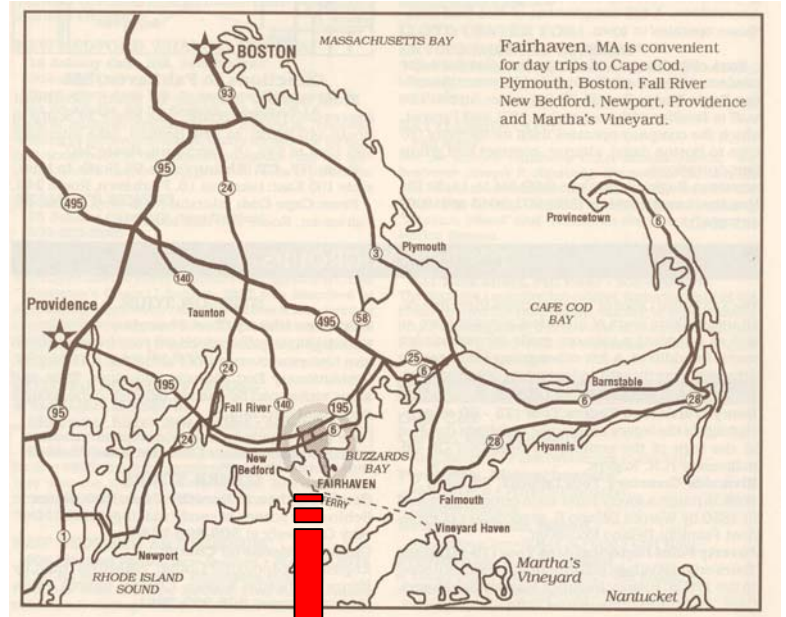
今回は、ジョン万次郎のアメリカ本土での生活を中心にをご紹介します。

	西 暦	出 来 事
旧 暦	1841 年 1 月	万次郎(14歳)、筆之丞(38歳)、重助(25歳)、五右衛門(16歳)、寅右衛門(26歳)の5人がはえ縄漁のため土佐国宇佐浦より出漁する。漁中、暴風雨に遭い漂流したのち鳥島に漂着する。
	5 月 9 日	アメリカの捕鯨船ジョン・ハウランド号に救助される。
太陽暦	12 月	ハワイに到着。
	1842 年 1 月	万次郎を除く4人をハワイへ残し再びジョン・ハウランド号に乗り込む。(ホノルル出港)南太平洋で捕鯨を続ける。
	1843 年 5 月	ジョン・ハウランド号の母港である、ニューベッドフォード港へ到着。
アメリカ本土での生活		ニューベッドフォード港に到着したのち、ホイットフィールド船長と万次郎はアクシュネット川にかかる橋を歩いて渡り、フェアヘーブンの町に入り、その後約3年間の月日を送ることとなりました。万次郎はオックスフォード・ストリート10番地にある通称アレンハウスと呼ばれるアレン家でジェーン・アレンというオックスフォード・スクール(1828年に町で最初の公立小学校として建てられる)の教師をしている女性に読み、書き、算数など個人教授を受けました。ホイットフィールド船長は前の航海中に奥さんを亡くしており、空き家となっていた自宅はすぐに住める状態ではなく帰国後、すぐに再婚することになっていて婚約者のアルバティナを伴って、伯父の住むニューヨーク州スピオ市に出かけ結婚式を挙げました。その間、万次郎は約2週間オックスフォード・ストリート14番地にあるエベン・エイキンの家に預けられ、この家からオックスフォード・スクールに通って、すぐにクラスの優等生となりました。エイキンは前の航海で航海士を務めた人で、ホイットフィールド船長とは懇意の仲にあった人物でした。その後、ホイットフィールド船長はスコンチカット半島に農場を買い新しい家を建てて移り住むことになりました。ホイットフィールド船長が農場に行った後もチェリー・ストリート11番地にある船長の自宅(平屋を2階に改築)に船長の叔母アメリカと共に住みながらオックスフォード・スクールに数ヶ月通いましたが、農場に移り住むこととなり、近くの学校へ転校しました。スコンチカットの小学校を出たのち、私立高校バートレット・アカデミーに約2年半通い数学、測量、航海術などを学びました。また、1845年5月にはニューベッドフォードの桶職人ハッセイに弟子入りし桶の作り方を習得しています。(阿河尚之特別紀行文『ジョン万次郎の見たアメリカ』より抜粋)
太陽暦	1845 年 10 月	ホイットフィールド船長が捕鯨船ウィリアム・アンド・エリザ号の船長としてニューベッドフォード港を出港。
	1846 年 5 月	万次郎は捕鯨船フランクリン号に乗り込み出港。太平洋を横切り、ケープタウンからインド洋を抜けて太平洋へ出た。日本近海で仙台の漁船に出会うが、うまく言葉を交わせず、日本上陸もしなかった。その後、太平洋を東へ向かいホノルルへ寄港。一緒に漂流した仲間と再会する。(重助はすでに亡くなっていた)この時、このあと縁が長く続くデーモン牧師と初めて会う。この後も捕鯨を続ける。航海中、船長のデーヴィスが精神に異常をきたしマニラに寄港しアメリカ領事館の役人に引き渡す。新しい船長を選挙で選ぶこととなり、一等航海士のエーキンと万次郎が同点。年上のエーキンが船長となり、万次郎は一等航海士兼副船長となる。捕鯨を続ける。
	1849 年 9 月	3年4ヶ月の航海を終えニューベッドフォード港に帰る。一足先に航海から帰っていたホイットフィールド船長も万次郎が船乗りとして成長して無事に帰還したことを大変喜んだ。その後、1ヶ月もしないうちに金採掘のためカリフォルニア行きを決意。ホーン岬を回ってカリフォルニアへ。蒸気船で金山に入り、3ヶ月ほど金を掘る。ある程度資金が貯まると、ホノルルへ渡る。伝蔵、五右衛門の二人と合流し1850年12月、サラボイド号という上海行きの客船に船員として乗り込む。(寅右衛門はハワイに残る)
旧 暦	1851 年 1 月	アドヴェンチャー号(上陸用のボートとして積み込んでいた)で琉球国摩文仁間切の浜へ上陸。最初は薩摩藩の琉球使番と琉球在番奉行の取調べを受ける。その後、鹿児島で薩摩藩、長崎で幕府長崎奉行、土佐藩の取調べを次々に受け、1852年10月 故郷中浜へ帰り母と対面。25歳の立派な青年になっていた。

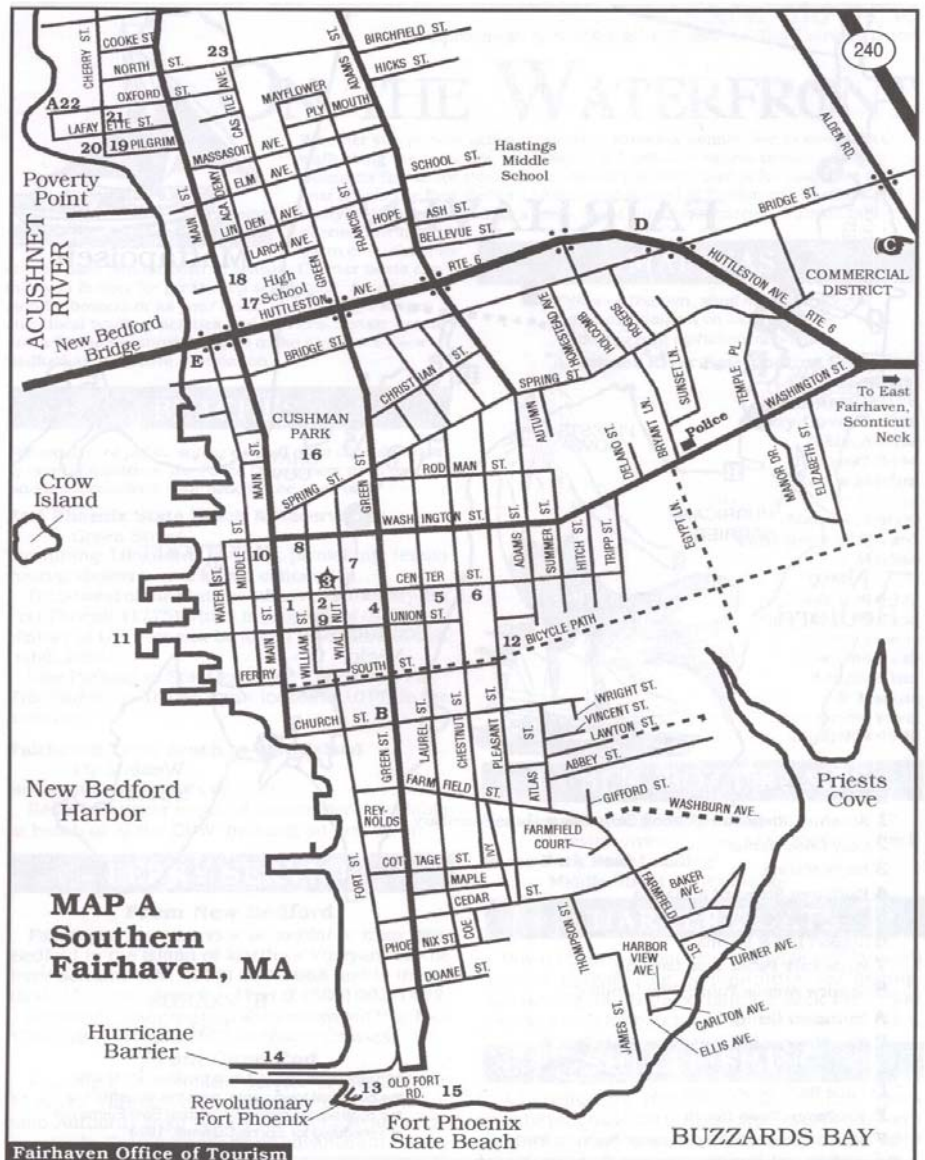
姉妹都市：マサチューセッツ州ニューベッドフォード/フェアハーブン



オックスフォード・スクール
(通称:ストーン・スクール)
ジョン万次郎が子どもたちと机を並べて学んだ。
今は閉鎖されているが、内部は当時のまま保たれている。



ホイットフィールド船長の家
ジョン万次郎がいた頃は平屋で
後に1階部分が建て増しされた。



フェアハーブン庁舎

ジョン万次郎が生活した町・フェアヘブン/ニューベッドフォード

フェアヘブンとニューベッドフォードはボストンから車で約1時間南へ走ったところにある海辺の町です。

しばらく西へ走ればペリー総督が日本へと船出したロード・アイランド州ニューポートの港があり、東へ走れば1620年メイフラワー号が到着したことで有名なケープコッドのプリマスロックに至る。アクシュネット川の河口を挟んで西側にニューベッドフォードが、東側にフェアヘブンを広げる。

二つの町は結びつきが強く、もともとは一つであった。そもそもインディアンから1652年に土地を買い求めたのは、イギリス人36人のグループである。そのうちの1人ジョン・クックはメイフラワー号に乗ってアメリカへ渡った約100人の1人でもあった。クックはこの土地をダートマスと名づけ、家を建てて実際に住みつく。

この土地は徐々に発展し、クックはプリマス議会でダートマスを代表するセレクトマンに選ばれた。そして、1695年にこの土地で息を引き取る。メイフラワー号でアメリカに渡った男性のなかで最後まで生き残った人物として歴史に残っている。

ダートマスからは、その後1787年にニューベッドフォードが独立し、1812年になってニューベッドフォードとフェアヘブンを分離した。このようにこの地域の歴史は、アメリカの中では特段に古い。特にホイットフィールド船長の家が建つ北側の一角はジョン・クックらが最初に住みついたところで、渡し船の船着場がおかれ、最初町の中心として栄えた。今でもこの地区には1742年に建てられた家を筆頭に、十八世紀の家が十軒以上並ぶ。他の家もほとんどが十九世紀はじめに建てられたものである。

ところが1790年に最初の橋が川にかかる、フェリーが廃止され活動の中心が南へ移り、発展からとりのこされる。もともとオックスフォード・ヴィレッジと呼ばれていたこの一角は一時すたれて貧しい人が住むようになり、今でもその名残でポヴァティー・ポイントと呼ばれている。そんな名前を今でもそのままにして人が住み、歴史を大切にしている。

ニューベッドフォード、フェアヘブンで捕鯨が始まったのは十八世紀中頃のことだった。主にランプ油や工場の潤滑油にするための鯨油をとるためであった。十九世紀になると最盛期を迎え、この二つの町だけで200隻以上の捕鯨船を有していた。万次郎がこの町に来た頃には、捕鯨で町が最も豊かだった頃でポヴァティー・ポイントには世界の海で活躍する船乗りが何人か家をかまえ、静かな住宅街となった。

万次郎がホイットフィールド船長に連れられて到着したフェアヘブンのこの一角には、すでに二世紀近くにわたる豊かな歴史があった。ポヴァティー・ポイントの雰囲気は、万次郎がいた頃からその後ほとんど変わっていない。(阿河尚之特別紀行文『ジョン万次郎の見たアメリカ』より抜粋)

第10回ジョン万祭りツアー参加者募集！！

ジョン万祭りは、14才で漂流した万次郎がアメリカの捕鯨船ジョン・ハウランド号に救助されたのち、ホイットフィールド船長の好意によりフェアヘブンで勉学に励み、捕鯨船で乗組員として活躍するまでの青年期を過ごしたことを記念しフェアヘブンの人々が日本の文化の紹介や日米の友好・交流を目的として、2年に1回開催しています。

土佐清水市姉妹都市友好協会では、この秋に米国姉妹都市マサチューセッツ州フェアヘブンで開催される『第10回ジョン万祭り』に参加し、姉妹都市のフェアヘブン・ニューベッドフォードで万次郎の足跡をたどるツアーを実施します。『ジョン万祭り』は今回で第10回の節目を迎えることから、友好協会では独自事業として、ツアー料金の一部を友好協会が補助するとともに募集人員を増やし積極的に参加したいと考えております。

ジョン万次郎の縁で結ばれた米国姉妹都市との友好を深めるため姉妹都市を訪問しませんか。

*** 詳しい実施要領、旅程は裏面を参照して下さい。**

第9回ジョン万祭りツアーにて



姉妹都市交流7日間ツアー

平成17年9月30日～10月6日

ツアー参加料155,000円

(ツアー料金232,000円のうち77,000円を友好協会が補助)

土佐清水市姉妹都市友好協会

〒787-0392 高知県土佐清水市天神町11-2

TEL 0880-82-1111 FAX 0880-82-2882

e-mail : kikaku@city.tosashimizu.kochi.jp

第10回ジョン万祭りツアー参加者募集!!

ジョン万祭りは、14才で漂流した万次郎がアメリカの捕鯨船ジョン・ハウランド号に救助されたのち、ホイットフィールド船長の好意によりフェアヘブンで勉学に励み、捕鯨船で乗組員として活躍するまでの青年期を過ごしたことを記念しフェアヘブンの人々が日本の文化の紹介や日米の友好・交流を目的として、2年に1回開催しています。

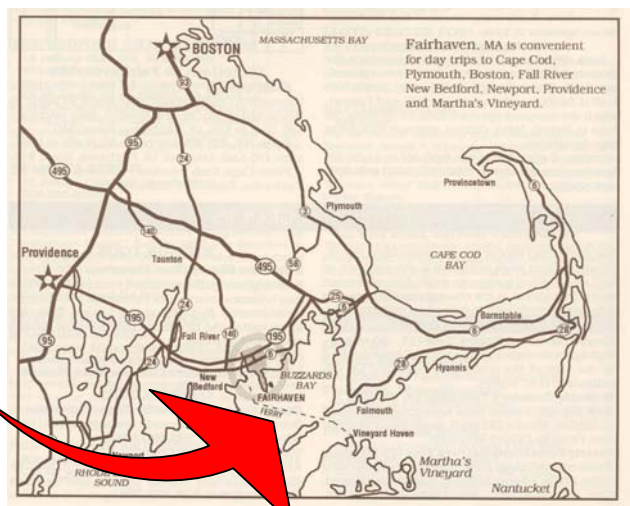
土佐清水市姉妹都市友好協会では、この秋に米国姉妹都市マサチューセッツ州フェアヘブンで開催される『第10回ジョン万祭り』に参加し、姉妹都市のフェアヘブン・ニューベッドフォードで万次郎の足跡をたどるツアーを実施します。『ジョン万祭り』は今回で第10回の節目を迎えることから、友好協会では独自事業として、ツアー料金の一部を友好協会が補助するとともに募集人員を増やし積極的に参加したいと考えております。

ジョン万次郎の縁で結ばれた米国姉妹都市との友好を深めるため姉妹都市を訪問しませんか。

ジョン万祭りに参加した後はニューヨークの観光名所を一巡り

詳しい実施要領・旅程は裏面をご覧ください

姉妹都市：米国マサチューセッツ州ニューベッドフォード/フェアヘブン



ホイットフィールド船長の家



オックスフォード・スクール
(通称: ストーン・スクール)
ジョン万次郎が子どもたちと机を並べて学んだ。

【第10回ジョン万祭りツアー実施要領】

- ◆期間 平成17年9月30日(金)～10月6日(木)
- ◆参加費 155,000円(ツアー料金232,000円のうち、77,000円を友好協会が補助します。)
 ツアー参加人数ほか諸条件により若干の変更あり
 ※次のものは参加費に含まれません。
 ・渡航手続き費用(旅券取得費用等)・損害保険料(任意保険)
 ・超過航空手荷物料金・お一人部屋を使用される場合の追加料金・その他の個人費用
- ◆募集人員 22名
- ◆申込方法 事務局まで電話またはFAXでお申し込み下さい。
- ◆申込期限 平成17年8月5日(金)
- ◆その他 参加者決定後、ツアー説明会を開催します。
- ◆申込・問い合わせ先 土佐清水市姉妹都市友好協会事務局(土佐清水市役所企画広報室内)

TEL (0880)82-1111内線212

FAX (0880)82-2882

第10回ジョン万祭りツアー旅程

出発 2005年 9月30日

7日間

帰国 2005年10月 6日

日	月日(曜)	地 名	現地時刻	交通機関	予 定 (宿泊地)	食 事
1	9月30日 (金)	土佐清水市 高知龍馬空港着 高知龍馬空港発 伊丹空港着 関西国際空港発 デトロイト着 デトロイト発 プロビデンス着	04:45 08:30 09:10 09:55 13:25 11:20 13:35 15:17	専用車 ANA1604 専用車 N W 7 0 NW1440 専用車	専用車にて高知龍馬空港へ 空路、伊丹空港へ 専用車にて関西国際空港へ 出国手続き後、空路、デトロイトへ(機内食2回) (日付変更線通過) 到着後、乗り継ぎ 空路、プロビデンス空港へ 専用車にて夕食後、ホテルへ 【フェアヘブン泊】	朝：参加者 各自 昼：参加者 各自 夕：※
2	10月1日 (土)	フェアヘブン	終 日	専用車	ジョン万祭り 【フェアヘブン泊】	朝：ホテル 昼：※ 夕：※
3	10月2日 (日)	フェアヘブン	終 日	専用車	フェアヘブン観光 【フェアヘブン泊】	朝：ホテル 昼：※ 夕：※
4	10月3日 (月)	フェアヘブン ニューヨーク	07:30 12:30	専用車	ニューヨークへ 昼食 ニューヨーク観光 (19世紀に中心的港として栄えた◎サウスストリート シーポート、17世紀末英国が人工の島を作り、嘗 として外敵に備えた◎バッテリーパーク、1886年 アメリカ独立100年を記念して建てられた◎自由の 女神、悪夢の現場◎グラウンド・ゼロに立ち寄ります) 【ニューヨーク泊】	朝：ホテル 昼：レストラン 夕：レストラン
5	10月4日 (火)	ニューヨーク発	14:00	専用車 N W 1 7	空港へ 空路、帰国の途へ (日付変更線通過) 【機内泊】	朝：ホテル 昼：機内食 夕：機内食
6	10月5日 (水)	成田空港着	16:35		着後、入国手続き 【成田周辺泊】	昼：機内食 夕：参加者 各自
7	10月6日 (木)	ホテル発 羽田空港着 羽田空港発 高知龍馬空港着 高知龍馬空港発 土佐清水市着	09:30 10:30 11:45 13:00 13:40 17:00	専用車 ANA 563 専用車	専用車にて羽田空港へ 空路、高知へ 専用車にて土佐清水へ	朝：ホテル 昼：参加者 各自

この日程表は最も新しい資料により作成しておりますが、交通機関の都合により出発到着時刻の変更が生ずる場合があります。

食事条件※部分は米国姉妹都市委員会よりご負担いただきます。

●入場観光 ◎下車観光で、その他は車窓観光になります。

利用予定航空会社

国内線 ANA：全日空 国際線 NW：ノースウェスト航空

利用予定ホテル

フェアヘブン：HOLIDAY INN EXPRESS 又は同等のファーストクラスホテル

ニューヨーク：HOLIDAY INN MIDTOWN 又は同等のファーストクラスホテル

成田空港周辺：成田全日空ホテル